

例題8の目的

- 流用入力により，新たに書誌レコードを作成する場合の手順を理解する。
- 書誌レコードの記述文法を習得する。
- 初号以外の号による書誌登録時の注意事項について理解する。
- USMARCS からの流用時の注意事項について理解する。
- タイトル変遷のある資料の扱いについて理解する。

操作の流れ

(1) 書誌検索

総合目録データベースには求める書誌レコードがヒットしない（ただし，何度も検索キーを変えて検索する必要がある）。

USMARCS に求める書誌レコードがヒットする。

USMARCS の書誌レコードを表示させる。

(2) 書誌確認（同定）

データ内容を確認し，USMARCS のレコードを流用して新たに書誌レコードを作成することにする。

現物に照らし合わせてデータを編集するため，全く一致する書誌レコードであるかどうかの判断をする必要はない。

(3) 書誌登録

書誌レコードの流用入力の手続きをとる。書誌レコードを正しく編集する。

初号以外の号による登録なので，記入できる部分，できない部分について注意する。

特に「記述の根拠号」についての注記は，忘れずに記入する。

終号も所蔵しているので，出版終了年，終号巻次・年月次，終号出版日付，出版状況コードの記入も行う。

(4) リンク形成

著者名リンクを形成する（著者名リンクフィールドが存在する場合は可能な限りリンク形成を行う）。

(5) 所蔵登録

新たに所蔵レコードを作成し，登録する。

(6) 登録終了

実際の業務では，郵送またはFAXまたはE-mailにて，国立情報学研究所への報告（新規作成及び，変遷確認）を行う。